

パビリオン施設・建材・設備機器・什器備品類の 会期後のリユース推進への取組み

～マッチングプラットフォームの構築～

2023年11月7日 第2回資源循環ワーキンググループ

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
企画局 持続可能性部 資源循環課

1. 背景と方向性

【リユース推進の背景】

- 2025年大阪・関西万博の会場は会期後に更地になることが前提であり、場内の建築物は、基本的にはすべて解体・撤去し、原状復帰した上で大阪市へ返還される予定。
- 一方で国内には建物・建材のリユースに関する法制度や社会的仕組みが整備されているわけでないため、事業主サイドが何もしなければ建材や大型設備機器は廃棄物処理（リサイクルや焼却、埋め立て）にまわることとなる。

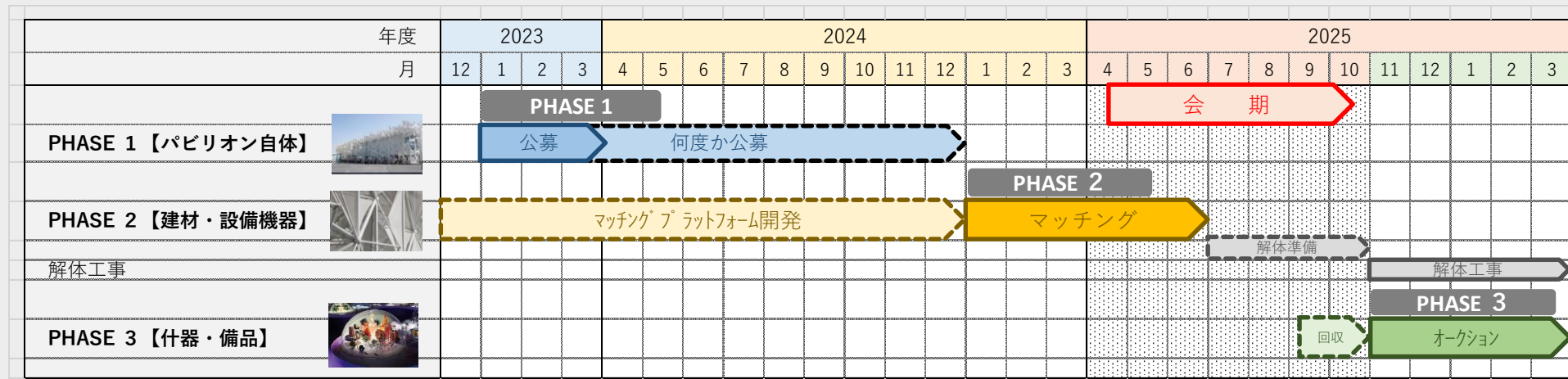
【協会の目指すべき方向性】

- 建築物の利用期間が短く、一度に大量の廃棄物が発生する当イベントの特殊性を活かし、計画的かつ積極的に建物・建材・設備・備品のリユースに取り組むことで、建設業界でのサーキュラーエコノミーの実現を目指す。
（なるべく会期後もレガシーに成り得る取組み）
- 協会資産に限らず会場全体の資産を対象にリユースを推進し、廃棄物量を削減していく。
➡施設・設備・備品類のマッチングプラットフォームの構築を検討（2025年1月公開を目標）
- 施設単位の移築を実現するためにはある程度の準備期間が必要であり、上記プラットフォーム完成を待たずに別途先行でシグネチャーパビリオンと若手建築家施設について、公募を実施する予定。
➡2023年度内公開を目標



2. 具体的な公募時期と対象物

- (1) PHASE 1 : 2023年度～
 施設単位の公募（シグネチャーパビリオン8棟、若手建築家施設20棟を皮切りに、順次他の施設も対象とする）を2段階（先発：自治体他、後発：民間）で実施
- (2) PHASE 2 : 2025年1月頃
 マatchingプラットフォーム（MPF）は運営参加の協賛者と共同でシステムを開発し、運営していく。協会資産に限らず、会場内の他の事業者にも利用できる仕組みにすることを旨す。施設・建材・設備機器等、取り外しに工事が必要なものを対象とするため、リユース対象物の解体には準備が必要。（例：解体工事費の算出、手ばらしの職人手配、買い手に輸送するための業者手配など）
- (3) PHASE 3 : 2025年10月頃
 閉会時に残った什器備品（引っ越し業者で回収できる大きさのもの）を、マatchingプラットフォームにて公募。

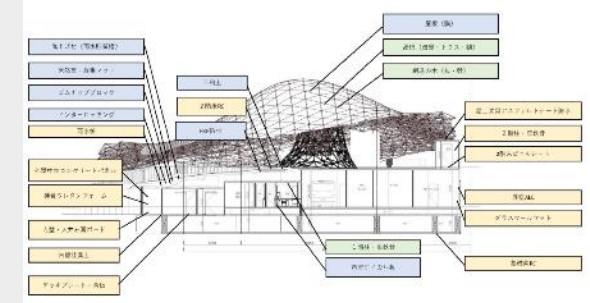


■ PHASE 1 のイメージ…施設単位の公募（目標：2023年度内スタート）

WEBページにてシグネチャーパビリオンや若手建築家施設の施設単位のリユース公募用窓口を設置

イメージ

いのちを守る	プロデューサー 河瀬 直美 売却済 展示イメージ	いのちを驚かす	プロデューサー 宮田 裕章 公募準備中 体験イメージ
いのちをつむぐ	プロデューサー 小山 薫堂 EARTH MART 体験イメージ コンセプト 「食」と「いのち」にまつわる当たり前をリセットし、ひとりひとりの行動を変えるヒントにあふれた市場	いのちを拓ける	プロデューサー 石黒 浩 いのちの未来 体験イメージ コンセプト 技術と融合することにより、いのちの可能性を拓ける
いのちを育む	プロデューサー 河森 正治 公募準備中 体験イメージ	いのちを高める	プロデューサー 中島 さち子 公募中 ●/● ✕切 体験イメージ
いのちを知る	プロデューサー 福岡 伸一 いのち動的平衡 I am You 体験イメージ コンセプト 利己から利他へ	いのちを磨く	プロデューサー 落合 陽一 null² 体験イメージ コンセプト デジタルとヒューマンという新しい身体の写真鏡、変形構造体建築による新しい風景の鏡、デジタルとフィジカル二つの鏡を通じて磨き輝く命の形を示す



各施設の公募状況を把握しやすいようにデザインし、関心のある対象を選ぶと、施設概要や協会連絡先を確認できるようにする
更に検討を進める際は、別途NDAを結んだうえで図面等の詳細情報を共有

■ PHASE 2 のイメージ…建材・設備機器単位の公募（2025年1月スタート予定）

- ・ WEBページにて建材・設備機器単位でのマッチングプラットフォームを構築



PCインターフェース画面

建材情報-詳細	
材料の別名	比重
建設資材コードCI-NET	一次材料使用率(%)
パビリオンストーリー	二次材料(リサイクル)使用率
基本数量	寿命(年)
製品名	リサイクル、埋め立て、焼却に利用できる材料の割合(%)
製品タイプ	再利用による製品の割合(%)
製品寸法	取り外し性 - 接続の種類
製品コード (EAN) または	詳細
品目コード	環境負荷削減100年
製品構成	(kgCO2換算)
重量(キログラム)	
検索条件	

デジタルマテリアルパスポート画面

■ PHASE 3のイメージ…会期後残った什器備品（2025年10月～）

- ① 会場内で対象物を回収する（協賛予定）
- ② 会場外の指定倉庫へ輸送（協賛予定）
- ③ 会場外倉庫で保管（協賛予定）
- ④ プラットフォームでマッチングして発送（協賛予定）
- ⑤ 残りをまとめて販売（古物業者などへ）



■全体スケジュール（案）

